

# I-Room OKi (アイルーム オキ)

I-Room OKi という名前には、I(わたし)eye(見守る目)inclusive(包括的な)のIと、愛のI

OKiには、隠岐という圏域の意味と誰もがOK(大丈夫)な社会参加を目指すという思いがあります。

## Q1 「I Room OKi」で教科の勉強はできますか？

各教科の遅れを補充する時間ではありません。本人の困難さの改善・克服に向けた指導(自立活動)が受けられます。特に必要があるときは、障がいの状態に応じて「各教科の内容を取り扱いたいながら行う」ことができます。

## Q2 「I Room OKi」はどうしたら利用できますか？

まずは、利用希望者について特別支援教育コーディネーターを中心に校内の関係者で相談をしていただき、情報収集や行動観察を実施します。そこで通級による指導が必要であると見込まれる場合は、センター校と協議を重ね、県教委とも相談の上、最終的には在籍校の校内委員会で利用の決定をします。

## Q3 「I Room OKi」を利用する場合、在籍校の先生は何をしらいいですか？

支援が必要と考えられる生徒について、まず、在籍校で個々の特性や教育的ニーズを把握して、個別の教育支援計画を作成します。通級開始後は、適宜、通級担当者と担当等との情報交換が必要です。

## Q4 単位認定されますか？

令和5年度より自立活動の単位として認定されます。1単位当たり35時間を標準とした指導計画を作成して指導し、その目標が十分に達成できたと校長が判断した場合に単位の認定を行います。



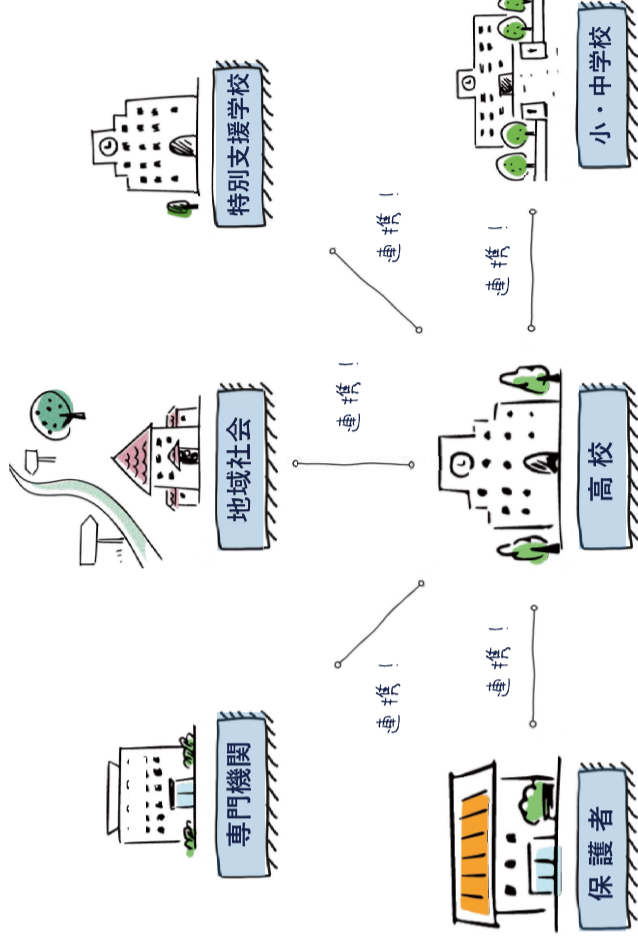
島根県立隠岐高等学校  
インクルーシブ教育システム推進センター校

住所：隠岐の島町有木尼寺原1  
電話番号：08512-2-1181(学校代表)  
携帯番号：080-2740-8687(I-Room OKi 直通)  
E-mail: i-room-ok@pref.shimane.lg.jp  
WEB: https://www.oki-hs.ed.jp



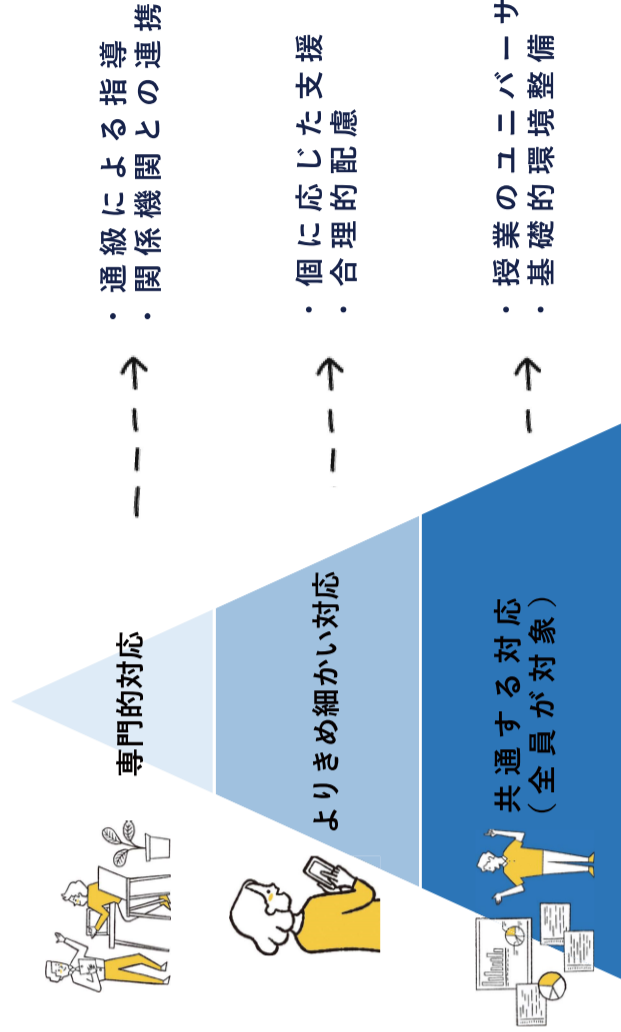
## 01 地域社会でインクルーシブ教育システムの構築

障がいの有無にかかわらず、地域の子ども達それぞれのパフォーマンスを尊重され、共に学んでいく共生社会を目指すのがインクルーシブ教育システムです。



## 02 高等学校における特別支援の考え方

全ての生徒の学びの機会や権利を保障するために、学校、学級等の全ての生徒を対象とする指導・支援から専門機関の活用を含めた個別の指導・支援へつなぐ校内体制を構築します。



# 特別支援教育の推進を目指して

高等学校における

【インクルーシブ教育システム推進センター校】



島根県立隠岐高等学校

隠岐高等学校は令和4年度より隠岐地域におけるインクルーシブ教育システム構築に向けて、中心的な役割を担うインクルーシブ教育システム推進センター校に指定されました。

このリーフレットは隠岐圏域の教職員、関係機関等に「I Room OKi」を知ってもらう為に作成しました。

# 03

## インクルーシブ教育システム 推進センター校の役割

高校の特別支援教育を充実させるために、  
センター校が各高校をサポートします。

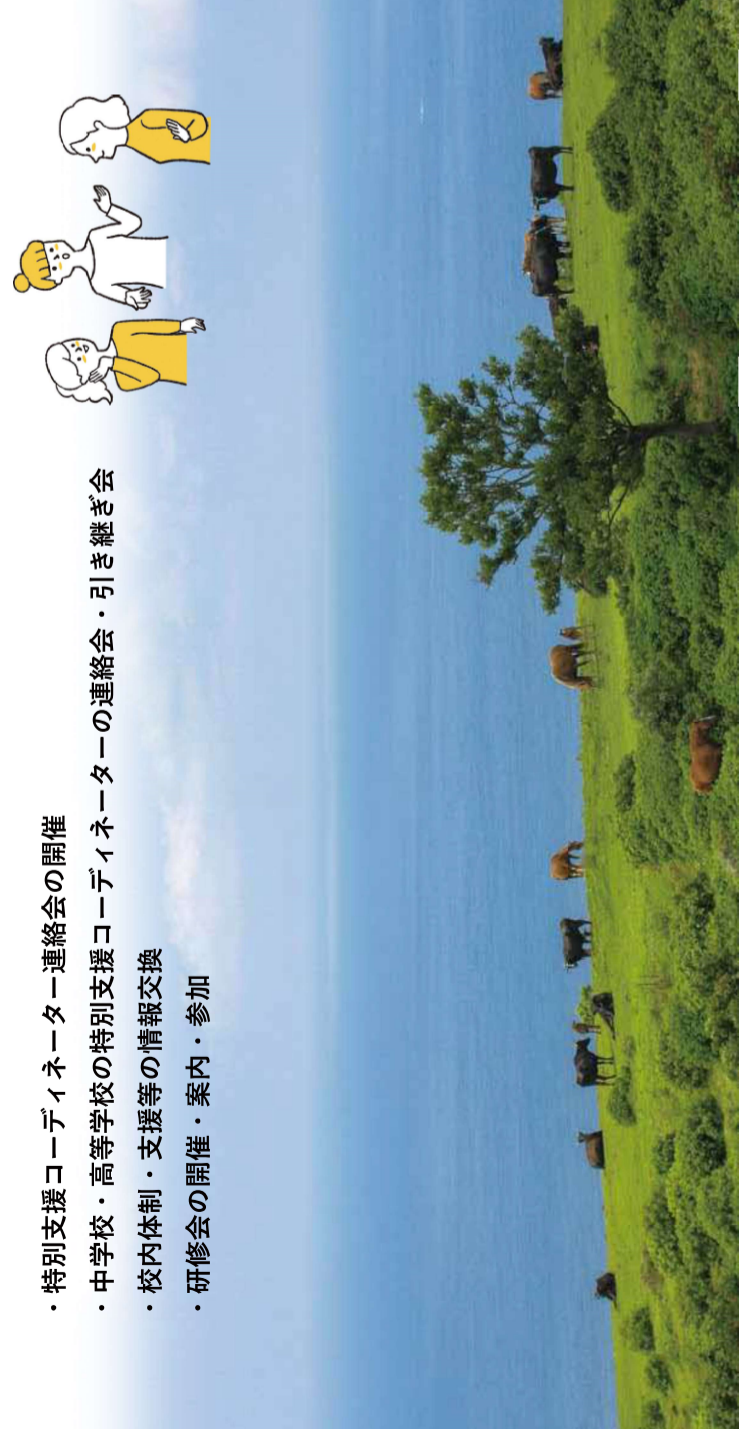
**① 高校からの相談対応**

**② 特別支援教育ネットワーク構築**

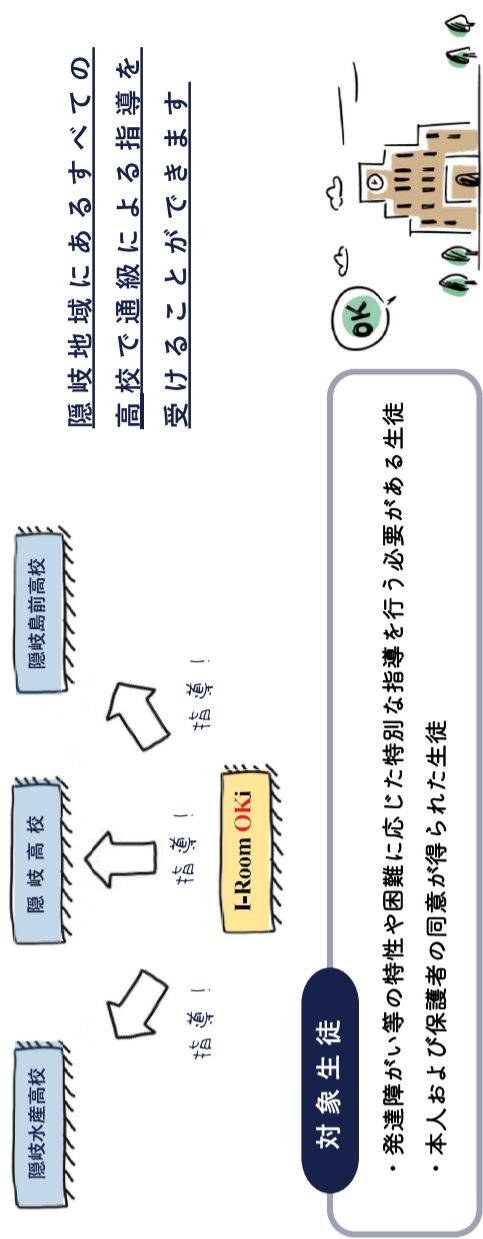
**③ 通級による指導 (拠点校方式)**

## ② 特別支援教育ネットワーク構築

- ・特別支援コーディネーター連絡会の開催
- ・中学校・高等学校の特別支援コーディネーターの連絡会・引き継ぎ会
- ・校内体制・支援等の情報交換
- ・研修会の開催・案内・参加



## ③ 通級による指導 (拠点校方式)



## ① 高校からの相談対応

### センター校への相談依頼

- ▼ **情報収集・行動観察**
- ▼ **支援方法の協議**
- ▼ **所属校での支援**

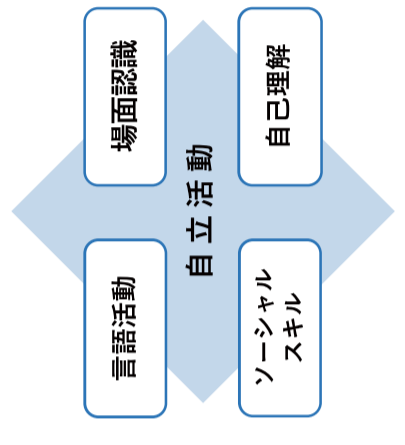
各校の担任、保健室、教育相談等でキャッチされた悩みごとや  
困りごと、困り感を気軽にご相談ください。

実際に授業や活動を見せてもらったり、日頃の様子を聞いたり、  
面談に同席したりします。

センター校の担当が校内の支援会議等に入らせてもらい、学校  
や家庭で行える支援を一緒に考えていきます。

必要に応じて、関係機関との連携・通級による指導を行います。

## 指導内容



- 【指導内容例】**
- ・自分の特徴(長所・得意なこと)
  - ・コミュニケーション(受容・表出言語)
  - ・他者の感情理解
  - ・場面に応じた言動
  - ・アンガーマネジメント
  - ・ストレスへの対処
  - ・整理整頓・持ち物の管理
  - ・行動の計画
  - ・生活リズム
  - ・相談できる人や場所
  - ・学習の仕方
  - ・学習の保障のためのICT活用

※実態に応じて指導内容を個別で決定します

## 指導の流れ

